

竣 工 図 作 成 要 領

2022年度版



十日町市上下水道局

1. 目的

この要領は、十日町市上下水道局（以下「局」という。）に提出する竣工図面類の作成基準であり、工事完成後における維持管理の適正を図ることを目的とする。

2. 適用

- (1) この要領は、水道管及び付属構造物を新設、改良または撤去する工事の受注者が標準仕様書に基づき、当局に提出する竣工図面類の作成基準を定めるものである。
- (2) 作図一般、記号、線の一般的用法その他この要領に定めのないものは、JIS Z 8310～18、土木学会「土木製図基準」、日本水道協会「水道工事標準仕様書」及びその他関係規格規定によるものとする。

3. 竣工図面の規格, 提出部数, 品質

受注者は当該工事の完了後、速やかに竣工図面類（表-1）を作成し、提出するものとする。

表-1 竣工図面の規格と提出部数

種類	規格	提出部数
工事竣工図（紙原図）	JIS A1 (594mm×841 mm)	1部
仕切弁等オフセット図（紙原図）	JIS A3 (297mm×420 mm)	1部
給水装置工事図（紙原図）	JIS A3 (297mm×420 mm)	2部

(1) 図面の規格, 提出部数

- イ) 竣工図面は、原則A1版とする。ただし、監督員の指示による場合はこの限りではない。
- ロ) 給水装置工事図は、**永年保存用に提出するものはA3判とし、竣工図書に綴るものはA4判に縮小してもよい。**
- ハ) 同一工事で施工場所が2箇所以上を含むものは、それぞれ1箇所ごとに一葉ずつ分けて作成する。
- ニ) 発注者が指示した場合は、完成図を電子媒体で提出する。

(2) 図面の品質

竣工図面の用紙は、下地が白く図がきれいに仕上がる良質なものを用い、図面用紙をいためなように保管ケース等に入れて提出すること。

4. 輪郭と標題欄及び記載内容

図面の輪郭と標題欄の記載内容については、次のとおり設けるものとする。

(単位 mm)

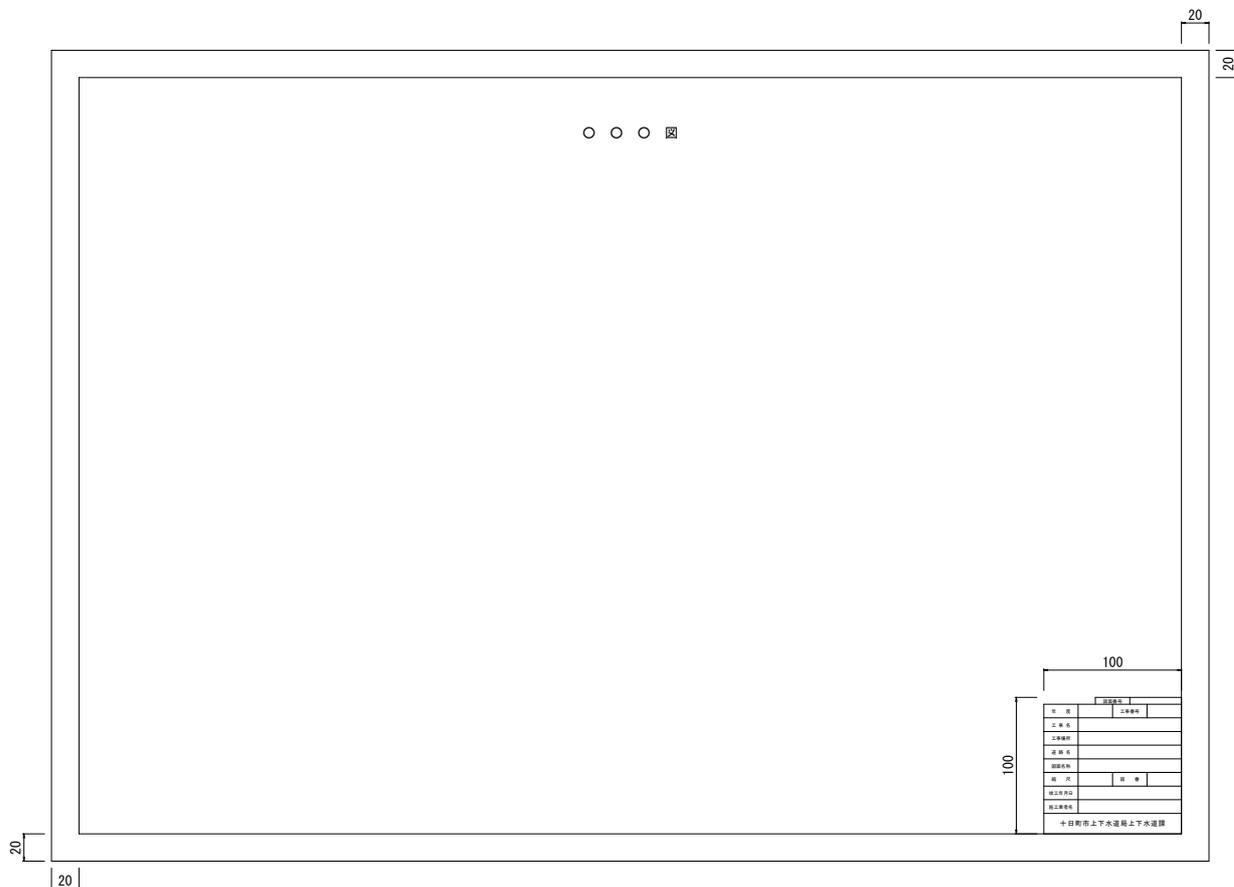


図-1 図面の輪郭

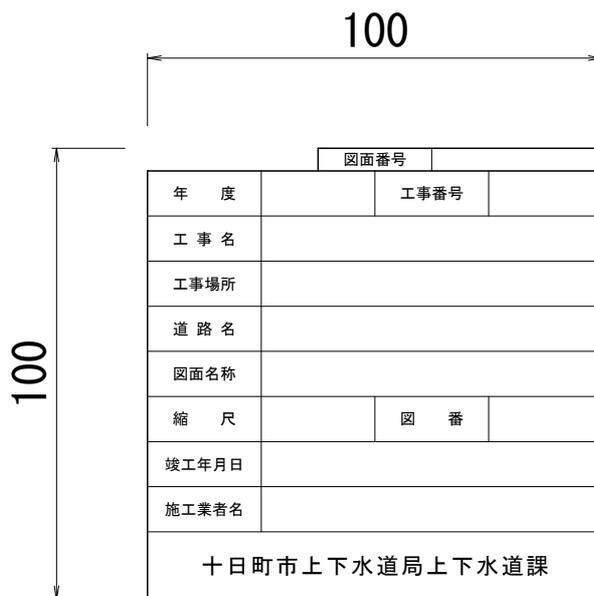


図-2 図面の標題

8. 作図上の表示

(1) 文字

- イ) 文字（数字を含む）は明瞭に書き、横書きを原則とする。
- ロ) 漢字は楷書で、仮名は平仮名を用いるのを原則とするが、品名・名称が外来語の場合は片仮名を用いる。
- ハ) 数字はアラビア数字を用いる。

表-2 文字の大きさ

種別 (例)	内 容	大 き さ
図 題	配管平面図、配管詳細図などのタイトル	□10 mm×10 mm
寸 法	管種、管路延長などの項目表記	□5 mm×5 mm
部 材	配管部材などの名称や個数表記	□2.5 mm×2.5 mm

(2) 線及び管路・施工区分の表示

- イ) 作図に使用する線の種類は、実線・破線・一点鎖線の3種類を原則とする。
- ロ) 線の太さは、必要に応じて適切な太さを選択する。

表-3 線種と太さ

線種	色	太 さ	
新設配水管	 赤	太い実線	0.50mm (参考)
既設配水管	 黒	太い実線	0.50mm (参考)
新設送水管	 赤	太い一点鎖線	0.50mm (参考)
既設送水管	 黒	太い一点鎖線	0.50mm (参考)
未撤去管	 灰色・赤	太い実線に×印	0.50mm (参考)
新設給水管	 赤	細い実線	0.25mm (参考)
既設給水管	 黒	細い実線	0.25mm (参考)
既設給水管 (宅内)	 黒	細い実線	0.25mm (参考)
地形図	 灰色	極細実線	0.13mm (参考)
道路改良計画	 黒	極細実線	0.13mm (参考)

- (3) 位置図、平面図、オフセット図には、必ず方位をいれる。
- (4) 図面はなるべく「北」を上方とする。
- (5) 部材の図示記号は、表-4による。
- (6) 管種等の表示記号は、表-5による。

表-4-1 部材の図示記号（1）

名 称	記 号	名 称	記 号
水道用ダクタイル鋳鉄管（GX形）		水道用ダクタイル鋳鉄管（NS形）	
直管		直管	
直管（ライナ使用）		直管（ライナ使用）	
二受T字管		三受十字管	
受挿し片落管		二受T字管	
挿し受片落管		受挿し片落管	
曲管90°		挿し受片落管	
曲管45°		曲管90°	
曲管22 1/2°		曲管45°	
曲管11 1/4°		曲管22 1/2°	
曲管5 5/8°		曲管11 1/4°	
両受曲管45°		曲管5 5/8°	
両受曲管22 1/2°		両受曲管45°	
フランジ付きT字管		両受曲管22 1/2°	
浅層埋設形フランジ付きT字管		フランジ付きT字管	
継ぎ輪		浅層埋設形フランジ付きT字管	
両受短管		継ぎ輪	
乙字管		短管1号	
管帽		短管2号	
栓		両受短管	
GX形ソフトシール仕切弁（両受）		管帽	
GX形ソフトシール仕切弁（受挿し）		栓	
P-link		NS形ソフトシール仕切弁（両受）	
G-link		NS形ソフトシール仕切弁（受挿し）	
甲切管（挿し口加工）		甲切管（挿し口加工）	
乙切管（挿し口加工）		乙切管（挿し口加工）	

表-4-2 部材の図示記号（2）

名 称	記 号	名 称	記 号
水道用ダクタイル鋳鉄管（K形）	（特殊押輪使用）	水道用硬質塩化ビニル管（HIVP, VP）	（離脱防止使用）
直管		直管	
三受十字管		90° ベンド	
二受T字管		45° ベンド	
受挿し片落管		22 1/2° ベンド	
挿し受片落管		11 1/4° ベンド	
曲管90°		5 5/8° ベンド	
曲管45°		ソケット	
曲管22 1/2°		受挿し径違いソケット	
曲管11 1/4°			
曲管5 5/8°			
両受曲管45°			
両受曲管22 1/2°			
フランジ付きT字管			
浅層埋設形フランジ付きT字管			
継ぎ輪			
短管1号			
短管2号			
管帽			
栓			

表-4-3 部材の図示記号（3）

名 称	記 号	名 称	記 号
水道配水用ポリエチレン管（1）		水道用ポリエチレン二層管（継手）	
EF受口付直管		PPソケット	
EFソケット		PP異径ソケット	
EFチーズ		PPエルボ	
EF片受チーズ		PPチーズ	
チーズ（SPチーズ）		PPおねじソケット	
フランジ付きEFチーズ		PPめねじソケット	
フランジ付EF片受チーズ		PPパイプエンド	
EF片受レデューサ		PP補修バンド	
レデューサ			
EFキャップ			
キャップ（SPキャップ）			
EF片受ベンド90°			
EF片受ベンド45°			
EF片受ベンド22 1/2°			
EF片受ベンド11 1/4°			
EF両受ベンド90°			
EF両受ベンド45°			
EF両受ベンド22 1/2°			
EF両受ベンド11 1/4°			
EF片受Sベンド			
EF両受Sベンド			
EF短管1号（EFフランジ短管）			
短管2号（フランジ短管）			
EFサドル			
	追加		
		名 称	記 号
		フランジ継手管	
		フランジ長管	
		片フランジ長管	
		三フランジT字管	
		フランジ片落管	
		フランジ曲管90°	
		フランジ曲管45°	
		フランジ短管	

表-4-4 部材の図示記号（4）

名 称	記 号	名 称	記 号
仕切弁ほか		その他	
ソフトシール仕切弁		管路上越し	
埋設用ゲートバルブ（おねじ付）		管路下越し	
空気弁（フランジ付）		立ち上がり（管路平面）	
減圧弁		立ち下がり（管路平面）	
地上式単口消火栓		排泥管	
地下式単口消火栓			追加
補修弁			
逆止弁			
不断水バルブ（ストッパー）			
不断水バルブ（ソフトシール）			
不断水分岐割T字管（仕切弁付）			
メカニカルジョイント（メカソケ）			
メカベンド90°			
メカベンド45°			
メカフランジ			
サドル付分水栓			
PP継手用フレキシブル管			
甲止水栓			

表-5 管種等の表示記号

名 称	表示記号	規 格
水道用鑄鉄管	CIP	JWWA 廃止
水道用ダクタイル鑄鉄管 (A形)	A. DIP	JWWA 廃止
水道用ダクタイル鑄鉄管 (K形)	K. DIP	JIS G 5526・5527
水道用ダクタイル鑄鉄管 (S形)	S. DIP	JIS G 5526・5527
水道用ダクタイル鑄鉄管 (NS形)	NS. DIP	JWWA G103・104
水道用ダクタイル鑄鉄管 (GX形)	GX. DIP	JWWA G120・121
水道用石綿セメント管	ACP	JWWA 廃止
水道用鋼板巻込み石綿セメント管	SACP	JWWA 廃止
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VA SGP-VB SGP-VD	JWWA G116
水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP	JWWA K129・130
水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管	VP	JWWA K129・130
水道用ポリエチレン二層管	PP	JIS K 6762
水道配水用ポリエチレン管	PEP	JWWA K144・145

- (7) 管体又は構造物を塗装した場合は、平面図にその仕様（製造会社名、塗料名、塗膜厚、色等）を記入する。
- (8) 塗覆装管は、平面図にその仕様を記入する。
- (9) 伸縮可とう管は、平面図にその仕様（製造会社名、形式名、許容偏心量、許容伸縮量、設置年月日）及び設置状況図を記入作成する。
- (10) その他、材料承認願い等により設置が承認された特殊部材は、その仕様（製造会社名、形式、代表寸法、設置年月日）及び設置状況図を記入作成する。
- (11) 平面図上の新設配水管、既設配水管の表示は次による。

GX. DIP φ 100 DP=1. 20

NS. DIP φ 100 DP=1. 00

(管種、管径、埋設深)

- (12) 異形管類を引出線により表示する場合は、次のとおりとする。

GX. DIP 曲管 φ 100×45°

NS. DIP 二受 T 字管 φ 100×75

GX. DIP 継輪 φ 150

NS. DIP 両受曲管 φ 200×22°

9. 竣工図作成チェックリスト

竣工図が本要領の内容で作成されているか点検するため、提出前にチェックリストで確認する。

表-6 竣工図作成チェックリスト

確認項目	確認内容	チェック欄
基本事項	図面用紙はA版になっていますか。	<input type="checkbox"/>
	図面の輪郭と標題欄が指定のものになっていますか。	<input type="checkbox"/>
作 図	構成が分かりやすく、見やすいレイアウトになっていますか。	<input type="checkbox"/>
	図面に方位は入っていますか。	<input type="checkbox"/>
	縮尺設定が正しくなっていますか。	<input type="checkbox"/>
	種別ごとに文字の大きさが正しく選択されていますか。	<input type="checkbox"/>
	線種ごとに線の色が正しく選択されていますか。	<input type="checkbox"/>
	線種ごとに線の太さが正しく選択されていますか。	<input type="checkbox"/>
	部材の図示記号が適正に配置され、詳細に記入されていますか。	<input type="checkbox"/>
	部材の名称や個数が記入されていますか。	<input type="checkbox"/>
	管種、管径、埋設深が正しく記入されていますか。	<input type="checkbox"/>
その他	特殊部材の仕様が詳細に記入されていますか。	<input type="checkbox"/>